

# ブナとイヌブナ



日本海側のブナ

単幹・白い木肌・多雪地帯



高原山のイヌブナ

叢生(株立ち)・黒い木肌・少雪地帯

釈迦ヶ岳

# 天然記念物のある場所

国指定天然記念物  
イヌブナ樹叢

黒沢

土上平放牧場

尚仁沢

里山・スギ・ヒノキ人工林地帯



Image Landsat  
Image © 2015 DigitalGlobe  
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

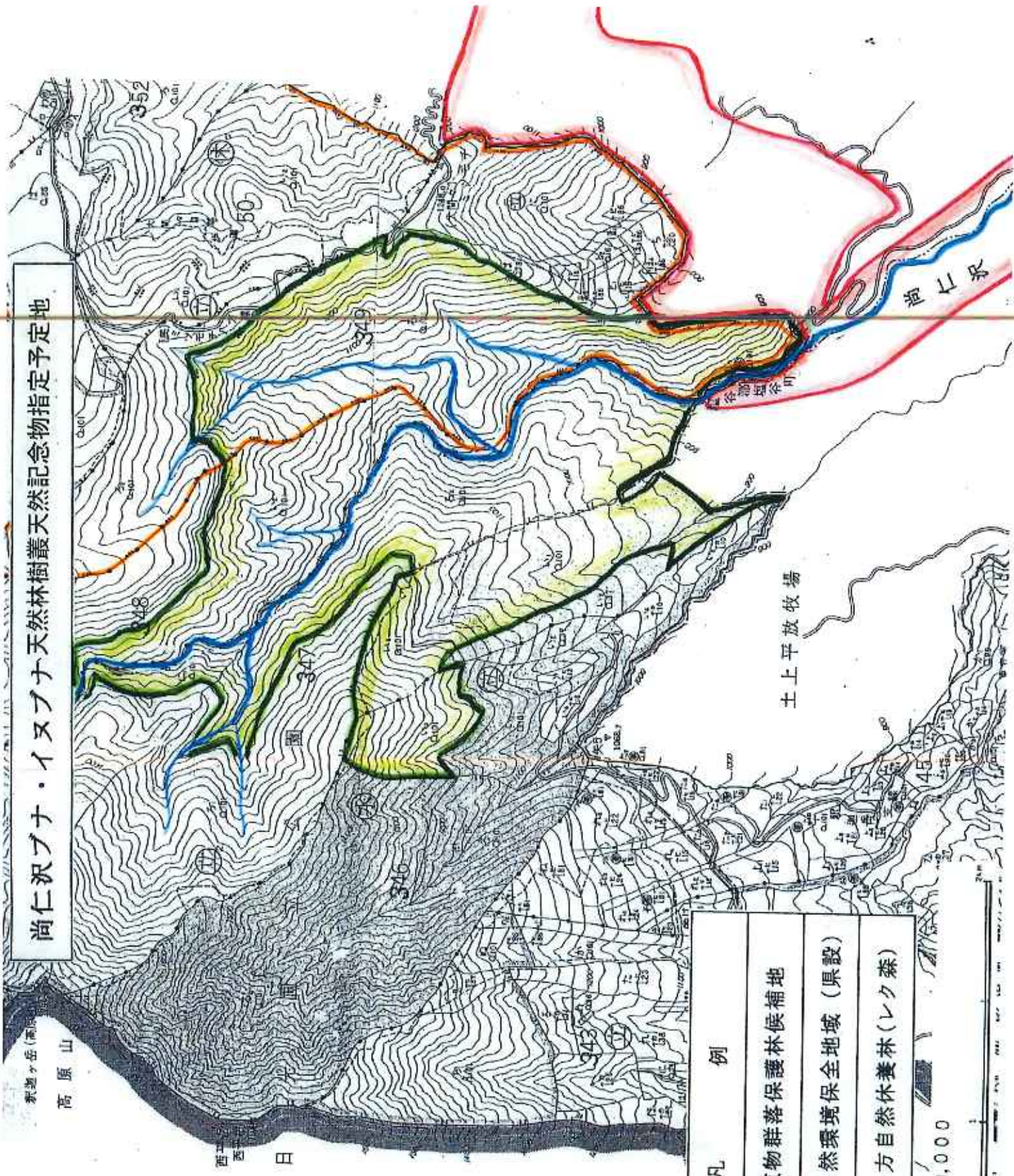
Google earth




イヌブナ樹叢の空中写真



日光署

尚仁沢ブナ・イヌブナ天然林樹叢天然記念物指定予定地



凡 例	
	植物群落保護林候補地
	自然環境保全地域 (県設)
	八方自然休養林 (レク森)

# 多様なツツジ(躑躅)の仲間



シロヤシオ



アズマヤクナガ



アブラツツジ



ヤマツツジ



コメツツジ



アカヤシオ



アブラツツジ



サラサドカダン

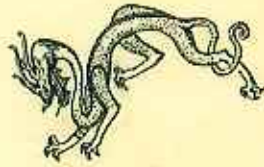
# ガストン・レビュアは

## 太陽を迎えに

ガストン・レビュア

近藤等 訳

## 人類の残した遺産



新潮選書

新潮  
書局

今世紀に入って、人類の自然破壊はいよいよ組織的となつた。が、それは名画を焼き、大寺院の塔を取り壊すようなもので、地球と太陽との間に幕を張って、恵み深い光線が私たちのところに届かぬようにしてしまふ悪行といえる。人間は自然の子である。自然の法則に従ってこそ生きる道が開ける。この教訓は、私が長い自然との付合から得た動かし難い信念でもある。本書は、私の人生に限りない嚮導を与えてくれる自然と私の「対話集」である。 著者

私は世界的登山家、G・レビュアの自然に対する深い愛情に心打たれた。  
本書は、空を飛ぶ鳥、公園の樹々を渡る風、大地をゆるがして流れ出る熔岩、焼けつく砂漠、紺碧の海、そそり立つ山岳、そして太陽に至るまでの、自然界の様々な現象と著者の「対話」である。その対話は、科学文明の目を推進することに急であつた現代人の眼を開かせるばかりでなく、自然と人間との関り合いの本質にまで及んでいる。真に豊かな社会とはなにかという設問にも答えている。自然への憧憬と敬愛とを失わず持ちつづける人への恵みを与えるものであることを、多くの体験から教えている。自然に対して尊大になりすぎた現代人に必読の、まことにすがすがしいエッセイ集である。 今西錦司

## 太陽を迎えに

# 最も優れた物は 自然(国立公園)

昭和48(1973)年発行

¥ 680